

社会資本総合整備計画 事前評価調書

計 画 の 概 要	計画の名称	魚津市における通学路の安全対策の推進(防災・安全)
	交付対象	魚津市
	計画期間	平成29年度～平成33年度(5年間)
	計画の目標	通学路において、歩行者・自転車等が安心して通行できる道路整備を行う。
	定量的指標 (目標値)	通学路における緊急合同点検箇所の対策率を 0%(H29)から 62.5%(H33)へ上昇させる。
全体事業費	440百万円	

項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1 関連する上位計画等との整合性が図られているか	○	魚津市総合計画に位置付けられた内容と整合が取れている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	通学路の合同点検により確認された課題に対応する目標となっている。
計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されているか	○	整備計画の目標を定量的に図ることができる指標を設定している。
	2 定量的指標が分かりやすいものとなっているか	○	計画の進捗度がわかる指標であり、分かりやすさに配慮した指標となっている。
	3 目標と事業内容の整合性が確保されているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、整合性を確保している。
	4 中間評価・事後評価時に検証可能な適切な指標となっているか	○	毎年の統計データや毎年実施している調査結果を基にした指標であり、中間・事後評価時に検証可能かつ適切な指標となっている。
	5 十分な事業効果が得られる計画となっているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、事業効果が得られる計画となっている。
計画の実現可能性	1 計画の熟度が高く、円滑な事業執行の環境が整っているか	○	目標達成に必要な事業を位置付けており、計画の熟度および円滑な事業執行環境は整っている。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	地元からの要望が強い事業も多く含まれていることから、地元との合意形成など実現に向けた機運が醸成されている。
評価結果	<p>評価Ⅰ 事業を実施</p> <p>評価Ⅱ 計画の見直し</p>		<p>【評価基準】</p> <p>「評価Ⅰ」は、全項目に○印が付いているもの</p> <p>「評価Ⅱ」は、1項目でも×が付いているもの</p>